

題字：鳩山威一郎

機関紙「友愛」

発行所

(財)日本友愛青年協会
〒112-0002
東京都文京区小石川
1-10-13 松本ビル2階
TEL:03-5684-3188
FAX:03-5684-3186
発行人：川手正一郎
編集人：鶴巻 克雄

隔月1回 10日発行

購読料
年額 3,000円

平成十七年度第二回理事会開催 新役員選任 十八年度事業計画概要決まる

新理事長に鳩山由紀夫理事選任される

副理事長に鳩山邦夫理事・井上和子理事を選任

鳩山安子理事長を名誉会長に

平成十八年三月二十九日(水)、文京区鳩山ビルにおいて、財団法人日本友愛青年協会、平成十七年度第二回定例理事会(第七十一回理事会)が開催され、平成十八年度事業計画として、「日ソ共同宣言議定書調印五十周年記念事業」を初め、概ね提案とおりの事業内容が承認された。また、今年度末で役員任期が満了となることから役員選任が行われ、新たな役員が選任された。

鳩山安子理事長挨拶

鳩山安子理事長以下二十名の理事、評議員が出席し理事会が開催された。

冒頭鳩山安子理事長から挨拶があり、「こうしてご出席くださる理事の方々、評議員の方々のご協力を得て、日本友愛青年協会の活動を続けていくことが出来ます。本当にありがたいことだと思っております。これからも皆様のお力を得て、続けられることを願っています」と感謝の意が述べられた。

鳩山安子理事長を議長に選出、中川事務局長の解説で、十八年度事業計画が提案された。

今回の理事会には、新しく備えられたパソコンとプロジェクターが導入され、

視覚的にも資料が提供され、たことで、参加者から「友愛もIT化が進んだね」の感想が寄せられた。五十周年記念事業実施十八年度の主な事業として、大きく取り上げられたのは、「日ソ共同宣言議定書調印五十周年記念事業」である。三月十四日の第一回を皮切りに、五月、七月、九月に勉強会を開催すること。機関紙「友愛」に関連記事掲載することなど、次代への礎となる情報提供の場を設ける主旨で記念事業として展開することが承認された。

また、日中緑化基金による「植林事業」についても、十八年度事業に組み入れ、継続的に協力していくことが承認された。十八年度は、

湖北省・宜昌の「三峡ダム周辺」と、広西チワン族自治区内「桂林周辺」の植林が予定されている。本協会の行う植林事業は、中国側からも、高く評価されている旨の報告があった。JICAの行う青年招へい事業の委託を本協会が受け、プログラムを作成し実施している「青年招へい事業協力」に関しては、十八年度は一件の受け入れを行うことが提案された。JICAから要請されているのが「インドネシア教育グループ」であることが説明され、受け入れ実施は、承認された。

友愛ドイツ歌曲(リート)コンクールに関する事業として、開催することが承認された。十八年度は、

最後に役員改選が議事としてとりあげられ、満場一致で鳩山由紀夫理事が理事長に選任された。副理事長には、鳩山邦夫理事、井上和子理事が選任された。

また、現鳩山安子理事長を「名誉会長」にとの声がり、議題として諮られた結果、満場一致で承認された。その他事業内容の詳細に関しては、今後具体的な検討を行うこととし、提案された事業計画案は概ね了承され、新執行体制のもと、十八年度に向けてのスタート準備が整った。(事務局記)

平成十八年三月十四日(火)午後六時十分より、文京区音羽の鳩山会館にて、(財)日本友愛青年協会主催の勉強会が開催され、成功裏に終了した。この勉強会は、本協会創設者である故鳩山一郎元総理がソ連(当時)に渡り、「日ソ共同宣言議定書」に調印してから五十年に当たる本年を記念して開催されたものである。歴史を捉え、鳩山一郎先生の偉業を称え、次代へむけての礎となるべく、一般に開放した勉強会の開催は、本協会の特別事業として本年度中に四回が予定されている。

日ソ共同宣言議定書調印五〇周年記念事業

第一回勉強会鳩山会館にて開催 講師に下斗米伸夫教授

鳩山由紀夫・鳩山邦夫両理事を迎え盛況

鳩山邦夫理事から講師紹介が行われた。「学生時代から勉強熱心で、下斗米教授の今日ある姿は、当時から容易に想像の言えた」との鳩山邦夫理事の言葉に、下斗米教授も「とにかく秀才、だれも追いつくことの出来ない成績だった」とお互いを讃えてのエールの交換。学生時代の友人同士の暖かい雰囲気にも包まれて、講演の開始時間となった。「鳩山会館」に感動。下斗米教授のご専門は比較政治論、ロシア、ソ連政治史とロシア、ソ連を語る上では、常にその最前線で活躍してこられた方である。そうした意味からも、

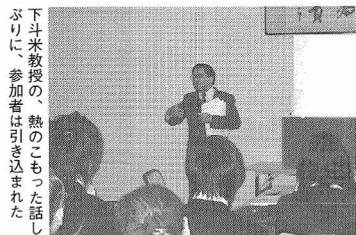
教授にとっても「鳩山一郎のソ連訪問」「国交回復の原点」は、重大な関心事であると話される。そして「今まさに、私はその歴史を作った場所「鳩山会館」でお話しすることが出来るのは、私にとつてのこの上ない喜びです」と、鳩山会館に対する思いを話された。教授のお人柄が偲ばれる、思いのこもった話し振りに、早くも参加者は惹きつけられた様子だ。鳩山由紀夫理事、鳩山邦夫理事そつと聴講

本協会記念事業の初回とあって、講師紹介者の鳩山邦夫理事はもとより、鳩山由紀夫理事も出席され、会

下斗米教授を ご紹介くださったのは、鳩山邦夫理事。東大同級生という誰から、下斗米教授にも「快諾いただき」

この日、講演に先立って

下斗米教授の、熱のこもった話しぶりに、参加者は引き込まれた



友愛時評
近ごろ、小学生に英語を教えるという意見が強くなっているという。時評者はこれに反対である。大体「日本語」つまり「国語」が、まともに出来ないのに外国語が出来るわけがない。▼言うまでもなく、言葉は「話す」「読む」「書く」の三つができないと、その言葉が「出来る」と言わないし、また言えないはずだ。時評者は専門の関係から必要にせまられていくつかの外国語を勉強したが、右のような意味で「出来る」と言えるのは英語だけだ。それらはいぶ「割引」しなければならぬだろう。▼中学生や高校生でも、英語を「読む」のはとてもかく、話したり、書いたりすることの出来る者はきわめて少ない。とくに書くことに至っては英文の先生に聞けばはつきりする。それを小学生から学ばせようとする。▼大抵英語の先生がどのようにして見つけたのだろう。英語が話せても書ける人は少ない。北アメリカの大学に毎年数万人の日本人が「留学」または「遊学」するが、会話が出来るようになるというものが一杯のこの人だ。それなのにほとんどの人が「アメリカの〇〇大学」で勉強したという。▼ところが考えてみてもらいなさい。彼等は日本の大学での講義や演習と「同じレベル」の内容を「英語」で聞くのだ。ここでわざわざ「聞く」と書いたのは「解かる」はずがないから。ましてや毎週のようには「レポート」など書けるはずがない。(当然英語で書く「まずは「陳より始めよ」である。

場は一段と盛り上がりを見せた。両理事は、お忙しい時間をやりくりしてご出席、由紀夫理事からも「私も勉強させていただきま



法政大学教授 下斗米 伸夫

日ソ国交回復の今日的意義

「詳しくお話ししたいことがまだまだ沢山あります」と語り、これからの日ソ両国

「詳しくお話ししたいことがまだまだ沢山あります」と語り、これからの日ソ両国

が完結される日が待ち遠しいことでございます。このように、日ソの関係は、五〇年

こられたゴルバチョフ大統領です。現在はまだ七五歳で大

事件もありました。One for all for oneは誰の言葉か

味のスローガンとして農民の言葉を使ったわけです。それがアジアに、中国とか北朝鮮

下斗米教授の自己紹介 私の名前は、「下」に五通り、「米」に五通りござ

を体験できることは、歴史家にとって、重要なことです。

それからさらに五〇年たちますと、これは、鳩山一郎先

私には十七年くらいと短く、私は十七年くらいと短

比 対照的な国 ロシアと日本、いろいろな意味で似ているところと違

これは毛沢東の言葉です」といいます。北朝鮮の人に話

特に一九五六年の鳩山先生 国交回復というのを考え

私自身は、札幌生まれ、下斗米という姓も日本の北の名前で、ロシアとは

はじめに この場所「鳩山会館」とい

五〇年周期説 山梨学院大学にサルキソフ

それから五〇年たちますと、日露戦争がございました。

それから五〇年たちますと、日露戦争がございました。

ロシア人と個人的に付き合

種明かしをしますと、鳩山 邦夫議員も私と同じ教室で

現在私は、金日成とスターリンとの間のやりとりにつ

私自身は、札幌生まれ、下斗米という姓も日本の北の名前で、ロシアとは

「その時歴史が動いた」場所

その一年前の、一九五五年(昭和三十年)に、ソ連の通

話のあと、アンバルツモフ 国際問題委員長は、「おじ

その後、十七、八年たつて

同時、日本もロシアもこの

革命を遂行した、レーニンと

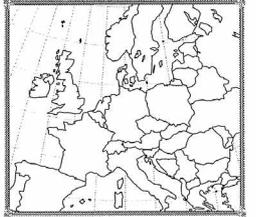
のぶお 一九四八年生まれ

法政大学法学部教授(詳細は

ヨーロッパ統合の歴史

第六回 冷戦終結以後の「中欧」の復活

東北大学法学部助教 戸澤英典



東西冷戦体制が固定化する中でフランス主導の「ヨーロッパ建設」が推進された結果(第五回参照)、クーデンホーフ・カレルギエ伯爵のパン・ヨーロッパ運動に代表されるような、中東欧地域の「欧州統合」の伝統は忘れられていた。欧州統合は「西側統合」であるNATO/EUと同義となった。

とはいえ、冷戦終結とその後の展開に影響を与えた欧州発の動きの一つが、一九八〇年代以降の中東欧諸国における「ヨーロッパ」、とりわけ「中欧」の再発見にあったことも間違いない。

チェコの作家ミラン・クンデラの「誘拐された西欧」(一九八三年)やハンガリーの作家ジョルジュ・コンラットの「反政治」(一九八四年)は、忘却の彼方に置き去りにされようとしている「中欧」という一体感を「文化的概念」として再掲することにより、東西冷戦体制に対する異議申し立てを行った。

東西冷戦がなぜ終結したのか、その原因については今なお論議が尽きない。資本主義体制の優越性の勝利なのか、米国の封じ込めの成功なのか、はたまたゴルバチョフという指導者の故なのか。東西双方での市民社会の動きに變動の要因を見出す者も多い。その際に、一九八九年八月十九日のパン・ヨーロッパ・ピクニックも特筆される。これは、ハンガリーにバカ

ンスに来ていた東ドイツ国民が大挙してオーストリアへ出国することに成功した「ピクニック」である。その結果、東ドイツは一定の「旅行自由化」を打ち出さざるを得ず、なし崩し的に「ベルリンの壁」崩壊がもたらされた。

このピクニックの主催者(あるいは主謀者)の方が適切か、は、ク伯の死後にパン・ヨーロッパ運動を引き継いだオットー大公(ハプスブルク家の正統継承者)である。オットー大公とハンガリーの内務大臣ボジウガイあたりが連絡を密にして、そのネットワークによって達成したイベントだったようである。

ポスト冷戦期に入ると、旧東側諸国は猛烈なスピードで「ヨーロッパ」への回帰を目指した。

西欧の基準に自国の政治・経済体制を適合させるべく、急速な民主化・市場経済化を推し進めた。二〇〇四年五月の第五次EU拡大によって中東欧諸国の大半がEUに加盟し、西欧統合の旧東側諸国の「吸収合併」が一応の完成を見たようにも思われた。

だが、そのほぼ一年後、二〇〇五年五月から六月にかけて欧州憲法条約の批准がフランスとオランダの国民投票で否決されたことにより、拡大EUの見通しは一気に不透明なものとなった。ヨーロッパ統合が一面的・単線的に発展する可能性は当分の間、閉ざされたようである。

こうした事態はヨーロッパにとつて必ずしもマイナスではなく、むしろ従来の西歐中心の「統合」のあり方を再検討する好機であるかもしれない。ク伯のパン・ヨーロッパ運動に代表される中東欧地域の統合の伝統も東西冷戦の氷室から解凍され「忘却」から蘇りつつある。「多様性の中の統一」を模索してきた中東欧地域の経験は、「規制の帝国」という評価すら見られる現在のEUのあり方を、批判的に照射する視点を提供することだろう。

グローバル化の進展の中で、「統合」という形態によって現代的な統治のあり方(ガバナンス)を模索するヨーロッパ——その試みが、中東欧諸国への拡大とその伝統の再発見によって豊かなものとなれば、アジアをはじめ他の地域の「統合」の試みにも有益な経験を提供してくれるに違いない。(五六回・志)

日ソ共同宣言議定書調印50周年記念

『鳩山一郎・薫日記』を読む

川手正郎

第三回 モスクワ到着
前回、一郎先生が、日ソ交渉全権団長としてモスクワを訪れた際、同行した薫夫人の日記から、その行程の前半をご紹介します。

九月七日に羽田を発ち、九月九日チュリビに着いたところまでを追った訳だが、世界地図を見ながらその旅程をたどるとき、一郎先生の決意の程が何い知れる。

十月十一日、午前十時空港から出発した日記につづられている。「惜しい名残をつけてチュリビの町とわかれ、(中略)空の旅をつづける。雲と山をこえ、上は陽光が当たって居る」(鳩山一郎・薫日記/中央公論新社刊より)という記述を拝見するに、薫夫人はチュリビの町が気に入られたようだ。それを示すのは、前日の日記「美しき街路、花多し。電車も右側、犬も一人前。九州位の処に四百五十万人の人口故、何となくゆつたりした感じなり」という記述である。

重大な使命を帯びた夫、加えて病身の夫の身体を気遣いながら、大層な旅を続けておられる薫夫人である。そのなかにあつてチュリビの町並みの美しさに目を留め、路面電車が右側通行をしていることを観察し、「犬も一人前」とユーモアを交えて日記に記せる冷静さとおおらかに、いままさらながら敬服するばかりである。

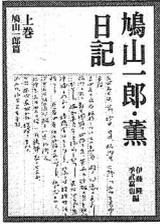
さて、一郎先生・薫夫人の旅はまだ続く。

十一日にチュリビを発ち、ストツクホルムに向かう。「十時四十五分フランスフルト市上通過。(中略)十一時四十五分ハンブルグ上空、十二時半コッペンハーゲンを海の上から下げて低空にて大きく一周し、また無事に帰る。じ

きくに国境に来る。二時ストツクホルム到着(前日出記より)。そして一時間かけてホテルに到着するが、「明朝は八時出発、早くやすむ。(中略)荷作りして夜十一時に荷物出す」というスケジュールである。

翌十二日「東へ行くので時計を二時間先に進める。しばらくは雲間から湖水と島、やがてバルチック海を経てリガを通り一路モスコへ」と綴られている。

日記は続いていよいよ、モスクワ到着の場面へと移る。「三時半中央飛行場に到着。雲が多いから少しゆれるといわれたが、テーブルの上の瓶もコップも出しっぱなしで倒れもせぬ程注意深く運ばれる。小雨の後は



『鳩山一郎・薫日記』上巻 一郎先生の直筆で装丁されている

日ソ共同宣言議定書調印50周年 日本友愛青年協会 記念事業

第3回 勉強会開催のお知らせ

鳩山由紀夫先生をお迎えして開催

第3回目は、鳩山由紀夫先生を講師にお迎えし、由紀夫先生からご覧になったロシアについて、また一郎先生の思い出などのお話をいただきます。記念事業の第3回を飾るに相応しい、由紀夫先生のご登壇です。ご多忙のなか、特に時間を割いてくださいました。直接一郎先生の思い出話をうかがえる好機です。皆様のご参加お待ち申し上げます。詳細は事務局までお問い合わせください。参加は無料です。

- 日時：平成18年7月11日(火)午後6時10分～
- 場所：鳩山会館 電話 03-5976-2800
- 講師：鳩山由紀夫先生
- 演題：ロシアと私 ―祖父一郎の思い出―

独立行政法人国際協力機構(JICA)委託事業 合宿セミナー参加青年を募集

独立行政法人国際協力機構(JICA)が行う青年招へい事業により、7月5日に来日する、第8陣「インドネシア教育(初中等)グループ」(22名)の「都内プログラム」「合宿セミナー」(日程は下記参照)を、本協会が担当することになりました。

特に、軽井沢友愛山荘で行われる「合宿セミナー」は、来日青年が日本青年と寝食を共にし、互いの文化を知るといって「友愛精神実践の場」とも言える企画です。このセミナーへの参加者を、広く募集します。沢山のご参加をお待ちいたしております。併せて、友愛青年協会会員の皆様には、セミナー参加者のご推薦をお願い申し上げます。

- 事業内容…第8陣インドネシア教育(初中等)グループ 22名
- 都内プログラム…7月18日(火)～7月25日(火)
- 合宿セミナー…7月21日(金)～23日(日)
- *参加ご希望の方は友愛事務局までお問合せ下さい。
- 友愛事務局 TEL03-5684-3188/FAX03-5684-3186

友愛クラブ

少しでも実践

榎麻記子

「友愛」との関わりは、五年ほど前、植林訪中団に参加したことが始まりでした。もっと思えば母は「友愛婦人会」の一員です。週れば他界した祖母は昭和三十三年、友愛婦人会発足当時の会員であったことを聞いておりますので、友愛との縁は、私が生まれる前からのことだったのだと感じております。

訪中の際は、毎回訪中団の団長を務めておられる川手正一郎常務理事をはじめとして、錚々たる顔ぶれの理事、評議員の方々と約一週間、あらゆる場面で一緒に過ごさせていただくこととなります。恐縮の固まりとなっております。皆様方は友愛活動の歴史などをお話くださり、その内容にも皆様の優しさにも大変感銘を受けました。

それから間もなく、私がお郷に任んでおり、事務局が近いこともあり、「友愛創立五十周年記念事業」のお手伝いをさせていただくことになりました。

実行委員をなさっていた「友愛クラブ」のメンバーの方々と何度となく顔を合わせ、お話をうかがっているうちに、友愛クラブにもお伺いさせていただくようになり、気がつけば今では、「友愛クラブゴルフコンペ」にも参加をさせて

いただきたき、本来なら同じラウンドを回る腕前ではない私を、暖かく見守っていただいております。

「友愛クラブ」は、現在の日本の礎を築いてこられた各界の方々、第一線で活躍されている方々の集まりですから、私のような若輩者が「なぜ同席させているのか」と思っているのから自分自身でも不思議に思っています。でも、これこそが皆様の広いお心、友愛精神の発露のお陰なのだ、自分流に解釈し、心からの感謝の思いで毎回参加させていた

これからも、友愛クラブにお伺いしたいと思っております。

私が申し上げるのも借越ではございますが、皆様から教えていただいた「友愛精神」をより多く受け継ぎ少しでも実践し、次の世代に繋げていくことが、このような素晴らしい会に加えていただいている者の務めと考えております。

今後ともよろしくご指導賜りますよう、この場をお借りしてお願ひ申し上げます。

友愛クラブの例会での講師の先生のお話は、難しい内容も多く、加えてメンバーの方から発せられる鋭い質問、熱い激論を目の当たりにしているときは、緊張感で一杯で、ドキドキします。新しい事、知らなかった事を知る機会は何にも代え難く、本当に良い勉強をさせていたいただいております。

そんな緊張感から解放されたてはと一息。

帰りに皆様と一緒に過ごすホテルのロビーでのティータイムでは、それぞれのお話にメンバーの方々のお人柄が表れて、違った楽しさを味わっています。

こうした経験を、今後の私の人生に活かし、心も知恵も豊かな人となるように



ゴルフコンペでの記念撮影(於:仙石カントリークラブ) 昨年12月 前列右端が筆者

★(財)日本友愛青年協会賛助会員募集★

「友愛活動」にご協力ください!

「相互尊重・相互理解・相互扶助」の理念を基に友愛活動を続けて50余年。この活動を次代に引き継ぐためにも、多くの方のご協力・ご参加をお願い申し上げます。

年会費:賛助会員1口1万円・1口以上 学生会員3千円

*詳細は事務局までお問い合わせください



まはゆい春の陽ざしをうけ、ご挨拶される鳩山安子会長

南北に長い日本列島、桜前線北上につれ各地の花便りが賑わい始めました。

四月三日、前夜の雨も上がり、風あれど桜満開。時折、花びらの舞う風情のなか、友愛婦人会五十周年記念の「観桜会」が鳩山会館にて開催されました。

安子会長主催のもと二百余名の参加者が集い、目には桜、口には美味し料理、皆様との出会いで心も満たされ、至福の時を過ごさせていただきました。

まずは乾杯後、安子会長の爽やかなご祝詞がありました。「日ソ共同宣言五十周年の記念の年に、友愛婦人会も五十周年記念事業が始まり、二つの記念の年の桜を迎え喜ばしく、皆様には楽しく和やかに過ごしていただきたきと存じます。」



真つ黒で日焼けしたお顔は、元氣そのもの。鳩山邦夫理事

安子会長のご挨拶に合わせ、ボルネオ島から直行してくださった邦夫先生ご到着。現地人ともがうほどの健康色にてご登壇されました。

邦夫先生は、「友愛婦人会五十周年記念事業の始めとして開かれた「観桜会」にお招きいただきありがとうございます。」と挨拶。

その後「ソメイヨシノ」にまつわるお話をしてくださり、改めて会館の桜が、一際美しく感じられたこと。

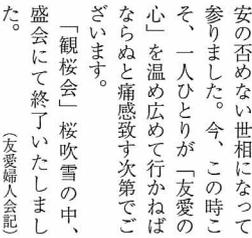
食事会へと移り会館から庭園まで人が溢れ、舌鼓を打ち盛り上がり初めミューズ、軽快なラテン・ミュージックが流れて来ました。

「トリオ・パライソ」の奏でる浮き浮きするようなリズムです。「トリオ・パライソ」はメキシコ大使館専属の楽士で、胸にギター、民族衣装で各テーブルを廻り、演奏し、お洒落な演出に、たつぷり異国情緒を味わわせていただきました。

宴たけなわの中、水口さん、長田さんの御礼の挨拶があり、最後の大川さんが「婦人会の行事への参加」をウイット満々なお話を誘われ、閉会となりました。

皆様、三三五五、お土産を手に帰路に着きます頃、春の風が吹き始めました。日頃の皆様の行いの良さの賜物と、一同胸をなでおろしたことです。

最近とくに、人と人、国と国との間がギクシャクし、話を通じないと言わな安の否めない世相になって参りました。今、この時こそ、一人ひとりが「友愛の心」を温め広めて行かねばならぬと痛感致す次第でございます。



トリオ・パライソの演奏風景。彩り鮮やかな民族衣装が、洋館の美しさを際立たせた

「観桜会」桜吹雪の中、盛会にて終了いたしました。(友愛婦人会記)



陽光を受け、鳩山会館の庭の新緑が輝く。集う人々の顔も、輝いている。

暖かい日差しが花や木々の芽に降り注ぎ、彩りを奏でる季節となりました。四月からオープンいたしました山荘にもようやく春がやってきました。部屋から見える自慢の庭には、色とりどりの花が顔を見せ始め、芝生は緑に変わり、軽井沢の春を満喫いただけるようになります。

自然に囲まれた軽井沢で、春のひと時を過ごしてみませんか? 皆様のお越しをお待ちしております。

○宿泊施設
お一人からご家族・グループのご利用も可能です。また研修施設としてもご利用いただけます。
最大収容人数 四十名(和室:七室 洋室:二室)

○有料利用施設
テニスコート/バレーコート兼用 (一面 全天候型) 会議室 (十五名まで)
ピアノ(アップライト型 一台)
自転車 (24インチ/10台)
各種ボール、バトミントンセットは無料貸出し出。
○その他
*山荘は二階建てで、エレベーター等の設備はございません。一階をご希望の方は、申込みの際にお申し出ください。
*テニスコート・会議室ご利用ご希望の方は、事前にお申し込みください。
*浴衣、小タオル、バスタオル、歯ブラシセットは用意してあります。ドライヤーは浴室に備え付けです。
詳しくは友愛事務局・電話03(5684)3188までお問い合わせください。
ホームページからもお申し込みいただけます。
URL: <http://www.yuainoh.or.jp>

~~~~~「若葉まつり」のお知らせ~~~~~  
たぐいまれな軽井沢町では毎年恒例の軽井沢町主催「若葉まつり」が開催されています。(四月二十九日・五月一日)  
・春の歴史散歩(中山道、軽井沢宿 街道めぐり)  
開催日:五月十四日(日) 参加料:五百円  
問い合わせ:史友会 電話:0267(45)8654  
・軽井沢テニスカップ、06  
開催日:五月二十七日(土)・二十八日(日)  
種目:女子ダブルス六十組、男子ダブルス六十組  
場所:風起公園  
問い合わせ:軽井沢テニスカップ大会事務局  
電話04(2926)0527  
その他盛りだくさんのイベントが開催されております。  
友愛山荘内にも資料・割引券などを取り揃えております。

春の軽井沢にだけけよう!  
軽井沢友愛山荘 予約受け付中